

東日本大震災で被災された地域の牧師と家族のための

第1回 被災した教会の牧会者セミナー

東日本大震災では、地域全体が甚大な被害を蒙り、復興に向けての課題は山積しています。そのような中で、教会と地域の先頭に立って日夜、牧会に励んでおられる牧師とそこご家族の皆様には、心から敬意を表します。

私たちは、そのような皆様に何かお手伝いできることはないかと考え、皆様が日常からしばし離れて静まった後、新たな力を得てそれぞれの派遣地に戻ることができるようにと、このセミナーを企画いたしました。

この企画は「東北 HELP」の推薦をいただき、全国、全世界の主にある教会からの祈りと支援のもとに実現するものです。どうか、遠慮なく参加をご検討くださいますよう、ご案内いたします。主にありて。

2011年 5月

<主催> パーパス・ドリブン・フェローシップ (担当：河野)

<共催> 日本国際飢餓対策機構 (担当：清家)

*問い合わせ 河野勇一 メール：yuichikawano@ric.hi-ho.ne.jp

携帯電話：090-8159-1978

<後援> 東海福音フェローシップ地震委員会
東日本大震災救援キリスト者連絡会

日時： 2011年6月27日(月)午後3時～29日(水)朝9時

会場： 蔵王国際ホテル <http://www.zao-kokusaihotel.jp/>

山形市蔵王温泉 933 (TEL. 023-694-2111)

目的： 被災した人の心のケアを覚えながら牧会と教会復興のために必要なことを分かち合い学びます。

プログラム概要： デボーション

ワークショップ「被災者の一人として自分と向き合う」

講義「被災した人にいかに寄り添うか」

共に過ごす人(講師)：

デイブ・ホールデン牧師(米国サドルバック教会、国際トレーニング
ディレクター)

藤掛 明 先生(聖学院大学大学院准教授・臨床心理士)

他に、パーパス・ドリブン・フェローシップの牧師たち

参加資格：東北6県内の大地震で被災した地域の牧師と家族（正統なキリスト教会と認められない場合、牧師としての奉仕実績が見られない場合などは受理できません。）

第1回定員：10家族

費用：二泊三日の宿泊滞在費と車一台による交通費を全額支給いたします。

申し込み方法：6月13日までに、下記の必要事項をパーパス・ドリブン・フェローシップ事務局にメールにて申し込んでください。折り返し、受理の連絡をいたします。なお、申し込み受理順に受付け、定員になり次第打ち切らせていただきます。

<パーパス・ドリブン・フェローシップ事務局> pdf.in.japan@gmail.com

被災した教会の牧会者セミナー申し込み

牧師名： _____ 性別 _____ 年齢 _____

教団・教会： _____ 電話・FAX _____

メールアドレス _____

住所： 〒 _____

同伴希望家族： _____ 名前 _____ 続柄 _____ 性別 _____ 年齢 _____

備考：

- 車がないので、公共交通機関を使う。
- セミナーの期間、教会の留守番をしてくれる人を望む。
- その他